

評価項目

- 診断を導く為の所見を話しの中で幾つ確認したか
- 過って診断を断定しなかったか
- 適正な情報提供を行ったか
- 言語的・非言語的メッセージを幾つ把握したか、受け止めた事を相手に伝えたか（共感的態度）

資料 4. リエゾンナースの活動に関する資料
(岩手県立久慈病院精神科)

2003年7月31日

県立久慈病院精神科診療支援について

県立久慈病院長 吉田 郁彦先生侍史

自殺多発地域における中高年の自殺予防を目的とした地域と
医療機関の連携による大規模介入研究

岩手医科大学医学部 神経精神科学講座 酒井 明夫

拝啓

盛夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は本研究班および精神科医療に対し、多大なご理解とご支援を賜り誠に感謝申し上げます。

さて、本研究班も2年目に入り、久慈市、山形村などで地域住民を対象とした自殺予防のための介入事業を開始しております。微力ながら地域医療に役立てればという一念から、貴院に於いても、医療機関における自殺予防介入事業を貴院精神科星医師と協力して行わせていただいております。しかし、現在の精神医療に対するニーズの増加から考えますと、精神科常勤医による外来および院内コンサルテーションサービスの運用には限界が来ることが予想されます。そのため、新たな精神科診療体制の構築が急がれます。

そこで、私たちは、新しい取り組みとして精神科外来におけるリエゾンナースの導入を提案したいと考えています。リエゾンナースとは、院内他科スタッフと精神科医師との架け橋的役割を担う、総合病院精神医学の新しい分野です。非常勤看護師1名の導入でも、院内の円滑な紹介システムの運用に十分な効果が期待されます。また、本研究によりリエゾンナースの効果を実証することで、将来的には精神科医療が不足している他の病院での導入も提案できると期待しています。

新しい試みであり、県立病院での導入には種々の問題点が予想されます。運用に当たり、私どもも最大限の支援をしたいと考えております。本事業の導入の可能性、適任者などについて、先生のご意見、ご指導を賜りたいと考えております。ご検討の程、よろしく申し上げます。

尚、勤務形態を下記のとおりで計画しています。まずは用件のみ失礼いたします。

敬具

勤務形態（案）

勤務場所：県立久慈病院 精神科外来など

勤務内容：他科医師および看護師から精神科的評価・治療が必要と考えられる患者の情報収集（患者家族、スタッフからの聞き取り）、精神科的評価の実施など

勤務時間：週3～4日、昼食休憩を除く1日6時間程度（当初は大学病院での研修も行う）

勤務期間：2003年9月～2005年3月末日（予定）

給与など：時給制、研究費を充てる（予定）。

リエゾンナースアンケート集計

表1-1 職種別男女数

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
女性	2	(6.9)	203	(97.6)	47	(49.0)	252	(75.7)
男性	27	(93.1)	5	(2.4)	49	(51.0)	81	(24.3)
合計	29	(100)	208	(100)	96	(100)	333	(100)

表1-1-2

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
女性	2	(6.9)	189	(97.4)	14	(100)	5	(27.8)
男性	27	(93.1)	5	(2.6)	13	(72.2)	4	(36.4)
合計	29	(100)	194	(100)	14	(100)	11	(100)

表1-2 職種別年代

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
20代	6	(18.2)	93	(42.3)	41	(41.0)	140	(39.7)
30代	13	(39.4)	52	(23.6)	19	(19.0)	84	(23.8)
40代	12	(36.4)	53	(24.1)	19	(19.0)	84	(23.8)
50代～	2	(6.1)	22	(10.0)	21	(21.0)	45	(12.7)
合計	33	(100)	220	(100)	100	(100)	353	(100)

表1-3 職種別経験年数

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
5年未満	8	(25.0)	54	(25.1)	30	(30.6)	92	(26.7)
5～10年未満	8	(25.0)	66	(30.7)	26	(26.5)	100	(29.0)
10年以上	16	(50.0)	95	(44.2)	42	(42.9)	153	(44.3)
合計	32	(100)	215	(100)	98	(100)	345	(100)

表2-1 職種別「リエゾンナースという言葉を知っていますか？」

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
聞いたことはない	19	(57.6)	115	(52.0)	83	(83.0)	217	(61.3)
聞いたことはないが、意味は大体分かる	6	(18.2)	14	(6.3)	3	(3.0)	23	(6.5)
聞いたことはある	6	(18.2)	77	(34.8)	14	(14.0)	97	(27.4)
聞いたこともあるし、意味をよく知っている	2	(6.1)	15	(6.8)			17	(4.8)
合計	33	(100)	221	(100)	100	(100)	354	(100)

表2-2 職種別「リエゾンナースに何を期待しますか？(複数回答可)」

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
患者、家族が自由に相談できる場所	16	(48.5)	157	(70.7)	48	(48.0)	221	(62.3)
精神科との橋渡し	13	(39.4)	62	(27.9)	18	(18.0)	93	(26.2)
精神疾患が疑われる患者への直接的な対応	16	(48.5)	68	(30.6)	25	(25.0)	109	(30.7)
精神疾患が疑われる患者への間接的な対応	16	(48.5)	64	(28.8)	20	(20.0)	100	(28.2)
スタッフの精神衛生に関する相談	4	(12.1)	79	(35.6)	13	(13.0)	96	(27.0)
その他	2	(6.1)	12	(5.4)	13	(13.0)	27	(7.6)
合計	33	(100)	222	(100)	100	(100)	355	(100)

表2-3 職種別「現在困っていることはありますか？(複数回答可)」

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
特になし	9	(27.3)	60	(27.0)	53	(53.0)	122	(34.4)
身体疾患の患者との関わり方	8	(24.2)	77	(34.7)	10	(10.0)	95	(26.8)
精神患者との関わり方	20	(60.6)	74	(33.3)	16	(16.0)	110	(31.0)
職場の人間関係、仕事内容など	7	(21.2)	89	(40.1)	25	(25.0)	121	(34.1)
その他	3	(9.1)	11	(5.0)	6	(6.0)	20	(5.6)
合計	33	(100)	222	(100)	100	(100)	355	(100)

リエゾンナースアンケート集計

表3-1 男女別「リエゾンナースという言葉を知っていますか？」

	女性	男性	合計
聞いたことはない	154 (59.5)	58 (71.6)	212 (62.4)
聞いたことはないが、意味は大体分かる	14 (5.4)	7 (8.6)	21 (6.2)
聞いたことはある	79 (30.5)	13 (16.0)	92 (27.1)
聞いたこともあるし、意味をよく知っている	12 (4.6)	3 (3.7)	15 (4.4)
合計	259 (100)	81 (100)	340 (100)

表3-2 男女別「リエゾンナースに何を期待しますか？(複数回答可)」

	女性	男性	合計
患者、家族が自由に相談できる場所	174 (66.9)	36 (44.4)	210 (61.6)
精神科との橋渡し	66 (25.4)	23 (28.4)	89 (26.1)
精神疾患が疑われる患者への直接的な対応	75 (28.8)	28 (34.6)	103 (30.2)
精神疾患が疑われる患者への間接的な対応	65 (25.0)	31 (38.3)	96 (28.2)
スタッフの精神衛生に関する相談	75 (28.8)	16 (19.8)	91 (26.7)
その他	17 (6.5)	9 (11.1)	26 (7.6)
合計	260 (100)	81 (100)	341 (100)

表3-3 男女別「現在困っていることはありますか？(複数回答可)」

	女性	男性	合計
特になし	86 (33.1)	37 (45.7)	123 (36.1)
身体疾患の患者との関わり方	75 (28.8)	13 (16.0)	88 (25.8)
精神患者との関わり方	75 (28.8)	28 (34.6)	103 (30.2)
職場の人間関係、仕事内容など	93 (35.8)	21 (25.9)	114 (33.4)
その他	16 (6.2)	4 (4.9)	20 (5.9)
合計	260 (100)	81 (100)	341 (100)

表4-1 年代別「リエゾンナースという言葉を知っていますか？」

	20代	30代	40代	50代～	合計
聞いたことはない	95 (66.0)	54 (62.8)	52 (61.9)	24 (51.1)	225 (62.3)
聞いたことはないが、意味は大体分かる	5 (3.5)	6 (7.0)	7 (8.3)	5 (10.6)	23 (6.4)
聞いたことはある	37 (25.7)	25 (29.1)	22 (26.2)	12 (25.5)	96 (26.6)
聞いたこともあるし、意味をよく知っている	7 (4.9)	1 (1.2)	3 (3.6)	6 (12.8)	17 (4.7)
合計	144 (100)	86 (100)	84 (100)	47 (100)	361 (100)

表4-2 年代別「リエゾンナースに何を期待しますか？(複数回答可)」

	20代	30代	40代	50代～	合計
患者、家族が自由に相談できる場所	86 (59.7)	55 (64.0)	54 (63.5)	28 (59.6)	223 (61.6)
精神科との橋渡し	36 (25.0)	26 (30.2)	21 (24.7)	10 (21.3)	93 (25.7)
精神疾患が疑われる患者への直接的な対応	43 (29.9)	25 (29.1)	29 (34.1)	13 (27.7)	110 (30.4)
精神疾患が疑われる患者への間接的な対応	37 (25.7)	28 (32.6)	23 (27.1)	13 (27.7)	101 (27.9)
スタッフの精神衛生に関する相談	35 (24.3)	20 (23.3)	30 (35.3)	11 (23.4)	96 (26.5)
その他	13 (9.0)	7 (8.1)	4 (4.7)	4 (8.5)	28 (7.7)
合計	144 (100)	86 (100)	85 (100)	47 (100)	362 (100)

表4-3 年代別「現在困っていることはありますか？(複数回答可)」

	20代	30代	40代	50代～	合計
特になし	49 (34.0)	32 (37.2)	25 (29.4)	22 (46.8)	128 (35.4)
身体疾患の患者との関わり方	40 (27.8)	26 (30.2)	20 (23.5)	8 (17.0)	94 (26.0)
精神患者との関わり方	46 (31.9)	24 (27.9)	30 (35.3)	9 (19.1)	109 (30.1)
職場の人間関係、仕事内容など	45 (31.3)	30 (34.9)	31 (36.5)	15 (31.9)	121 (33.4)
その他	10 (6.9)	5 (5.8)	5 (5.9)	1 (2.1)	21 (5.8)
合計	144 (100)	86 (100)	85 (100)	47 (100)	362 (100)

表5-1 勤務年数別「リエゾンナースという言葉を知っていますか？」

	5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
聞いたことはない	68 (70.8)	72 (69.2)	77 (50.3)	217 (61.5)
聞いたことはないが、意味は大体分かる	5 (5.2)	5 (4.8)	13 (8.5)	23 (6.5)
聞いたことはある	17 (17.7)	26 (25.0)	54 (35.3)	97 (27.5)
聞いたこともあるし、意味をよく知っている	6 (6.3)	1 (1.0)	9 (5.9)	16 (4.5)
合計	96 (100)	104 (100)	153 (100)	353 (100)

表5-2 勤務年数別「リエゾンナースに何を期待しますか？(複数回答可)」

	5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
患者、家族が自由に相談できる場所	52 (54.2)	68 (65.4)	98 (63.6)	218 (61.6)
精神科との橋渡し	16 (16.7)	33 (31.7)	43 (27.9)	92 (26.0)
精神疾患が疑われる患者への直接的な対応	23 (24.0)	40 (38.5)	47 (30.5)	110 (31.1)
精神疾患が疑われる患者への間接的な対応	25 (26.0)	28 (26.9)	47 (30.5)	100 (28.2)
スタッフの精神衛生に関する相談	17 (17.7)	25 (24.0)	52 (33.8)	94 (26.6)
その他	10 (10.4)	9 (8.7)	9 (5.8)	28 (7.9)
合計	96 (100)	104 (100)	154 (100)	354 (100)

表5-3 勤務年数別「現在困っていることはありますか？(複数回答可)」

	5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
特になし	42 (43.8)	34 (32.7)	49 (31.8)	125 (35.3)
身体疾患の患者との関わり方	23 (24.0)	29 (27.9)	42 (27.3)	94 (26.6)
精神患者との関わり方	27 (28.1)	28 (26.9)	52 (33.8)	107 (30.2)
職場の人間関係、仕事内容など	28 (29.2)	32 (30.8)	58 (37.7)	118 (33.3)
その他	4 (4.2)	6 (5.8)	11 (7.1)	21 (5.9)
合計	96 (100)	104 (100)	154 (100)	354 (100)

リエゾンナースアンケート集計

表6-1 看護職・年代別「リエゾンナースという言葉を知っていますか？」

	20代	30代	40代	50代～	合計
聞いたことはない	51 (54.8)	28 (53.8)	28 (53.8)	7 (31.8)	114 (52.1)
聞いたことはないが、意味は大体分かる	1 (1.1)	2 (3.8)	6 (11.5)	5 (22.7)	14 (6.4)
聞いたことはある	34 (36.6)	21 (40.4)	15 (28.8)	6 (27.3)	76 (34.7)
聞いたこともあるし、意味をよく知っている	7 (7.5)	1 (1.9)	3 (5.8)	4 (18.2)	15 (6.8)
合計	93 (100)	52 (100)	52 (100)	22 (100)	219 (100)

表6-2 看護職・年代別「リエゾンナースに何を期待しますか？(複数回答可)」

	20代	30代	40代	50代～	合計
患者、家族が自由に相談できる場所	62 (66.7)	40 (76.9)	39 (73.6)	15 (68.2)	156 (70.9)
精神科との橋渡し	27 (29.0)	15 (28.8)	13 (24.5)	7 (31.8)	62 (28.2)
精神疾患が疑われる患者への直接的な対応	32 (34.4)	16 (30.8)	15 (28.3)	5 (22.7)	68 (30.9)
精神疾患が疑われる患者への間接的な対応	27 (29.0)	15 (28.8)	14 (26.4)	8 (36.4)	64 (29.1)
スタッフの精神衛生に関する相談	31 (33.3)	13 (25.0)	26 (49.1)	9 (40.9)	79 (35.9)
その他	7 (7.5)	3 (5.8)	1 (1.9)		11 (5.0)
合計	93 (100)	52 (100)	53 (100)	22 (100)	220 (100)

表6-3 看護職・年代別「現在困っていることはありますか？(複数回答可)」

	20代	30代	40代	50代～	合計
特になし	27 (29.0)	14 (26.9)	11 (20.8)	8 (36.4)	60 (27.3)
身体疾患の患者との関わり方	34 (36.6)	21 (40.4)	16 (30.2)	4 (18.2)	75 (34.1)
精神患者との関わり方	34 (36.6)	15 (28.8)	18 (34.0)	6 (27.3)	73 (33.2)
職場の人間関係、仕事内容など	34 (36.6)	21 (40.4)	25 (47.2)	8 (36.4)	88 (40.0)
その他	6 (6.5)	3 (5.8)	2 (3.8)		11 (5.0)
合計	93 (100)	52 (100)	53 (100)	22 (100)	220 (100)

表7-1 看護職・勤務年数別「リエゾンナースという言葉を知っていますか？」

	5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
聞いたことはない	30 (55.6)	40 (60.6)	39 (41.5)	109 (50.9)
聞いたことはないが、意味は大体分かる	1 (1.9)	2 (3.0)	11 (11.7)	14 (6.5)
聞いたことはある	17 (31.5)	23 (34.8)	37 (39.4)	77 (36.0)
聞いたこともあるし、意味をよく知っている	6 (11.1)	1 (1.5)	7 (7.4)	14 (6.5)
合計	54 (100)	66 (100)	94 (100)	214 (100)

表7-2 看護職・勤務年数別「リエゾンナースに何を期待しますか？(複数回答可)」

	5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
患者、家族が自由に相談できる場所	33 (61.1)	46 (69.7)	73 (76.8)	152 (70.7)
精神科との橋渡し	9 (16.7)	25 (37.9)	27 (28.4)	61 (28.4)
精神疾患が疑われる患者への直接的な対応	15 (27.8)	25 (37.9)	28 (29.5)	68 (31.6)
精神疾患が疑われる患者への間接的な対応	14 (25.9)	21 (31.8)	28 (29.5)	63 (29.3)
スタッフの精神衛生に関する相談	14 (25.9)	22 (33.3)	41 (43.2)	77 (35.8)
その他	5 (9.3)	3 (4.5)	3 (3.2)	11 (5.1)
合計	54 (100)	66 (100)	95 (100)	215 (100)

表7-3 看護職・勤務年数別「現在困っていることはありますか？(複数回答可)」

	5年未満	5～10年未満	10年以上	合計
特になし	19 (35.2)	18 (27.3)	21 (22.1)	58 (27.0)
身体疾患の患者との関わり方	19 (35.2)	22 (33.3)	34 (35.8)	75 (34.9)
精神患者との関わり方	16 (29.6)	22 (33.3)	33 (34.7)	71 (33.0)
職場の人間関係、仕事内容など	21 (38.9)	24 (36.4)	41 (43.2)	86 (40.0)
その他	3 (5.6)	3 (4.5)	5 (5.3)	11 (5.1)
合計	54 (100)	66 (100)	95 (100)	215 (100)

表 1. 調査対象者

	医師		看護職		その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
女性	2	(6.9)	203	(97.6)	47	(49.0)	252	(75.7)
男性	27	(93.1)	5	(2.4)	49	(51.0)	81	(24.3)
合計	29	(100)	208	(100)	96	(100)	333	(100)

図 1. 職種別年齢構成の割合

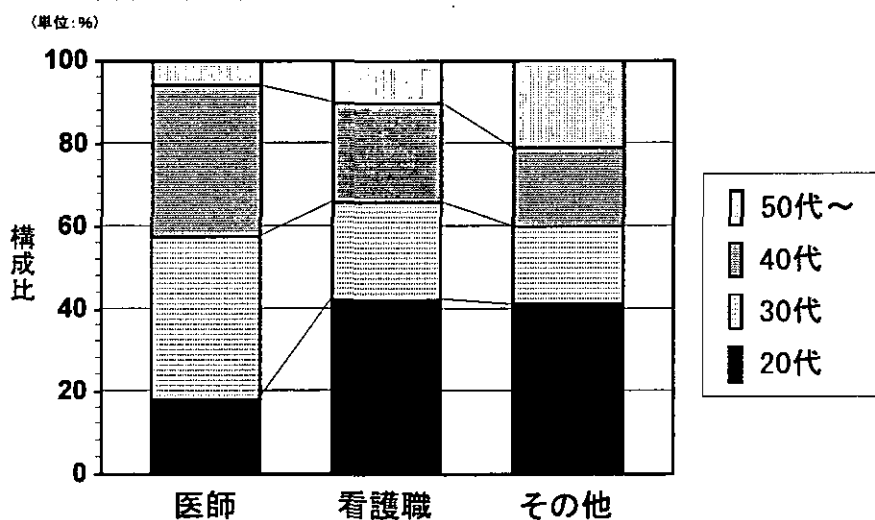


図 2. 「リエゾンナースを聞いたことがありますか？ (複数回答可)」

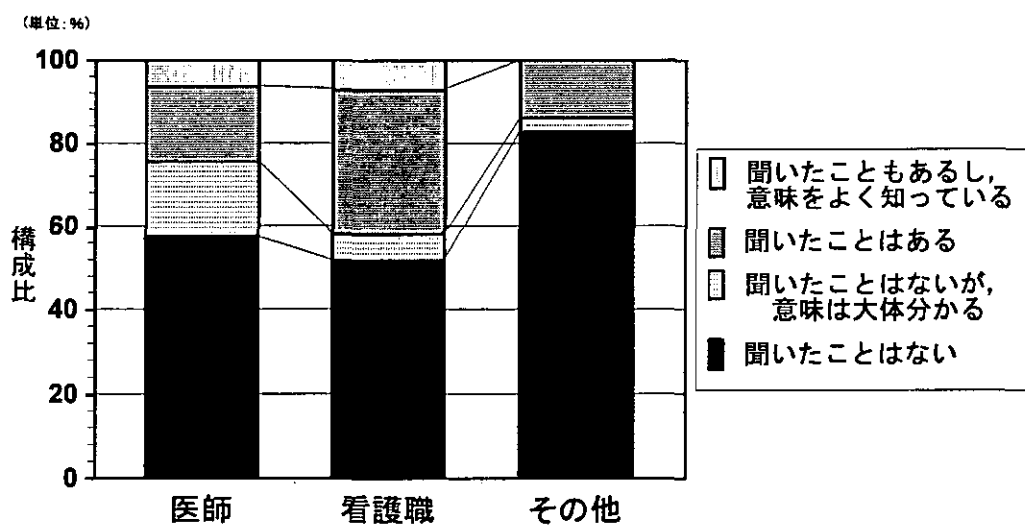


図3. 「リエゾンナースに何を期待しますか？（複数回答可）」

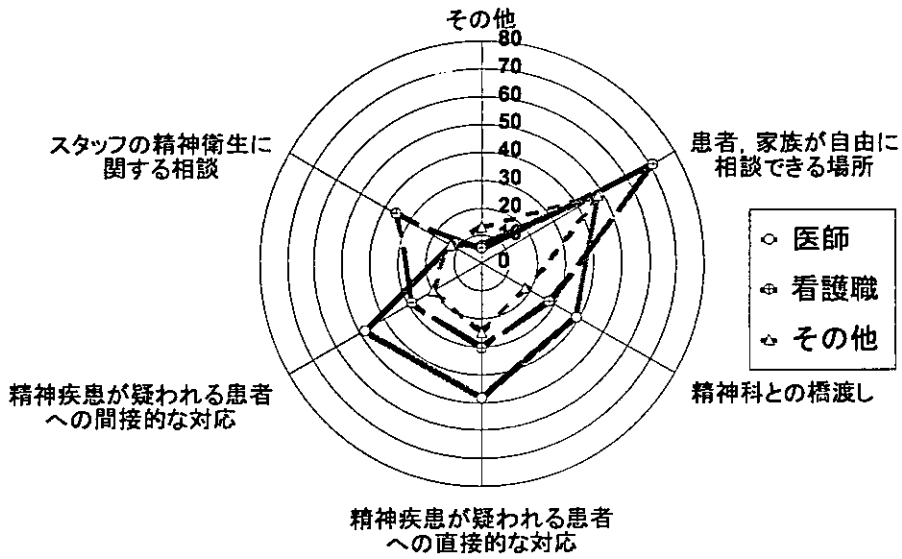
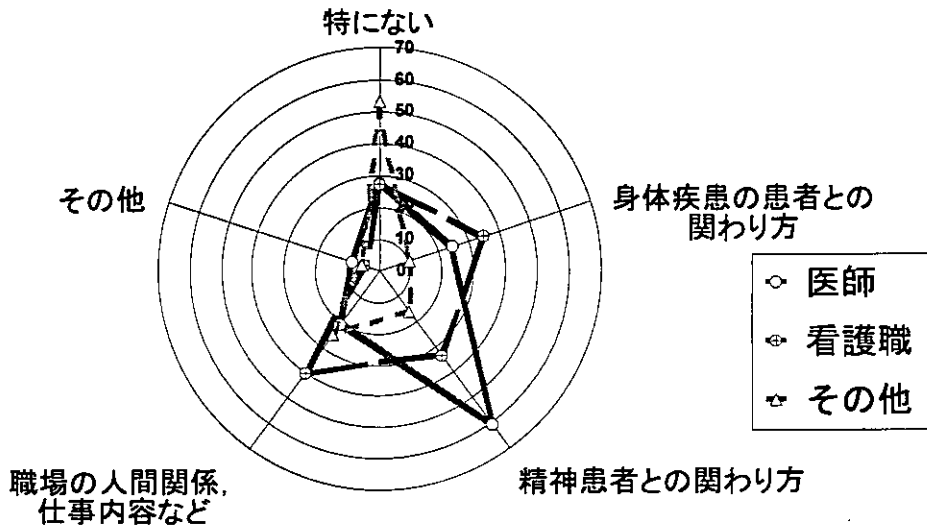


図4. 「現在困っていることはありますか？（複数回答可）」

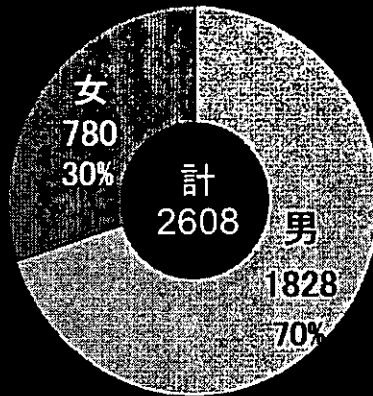
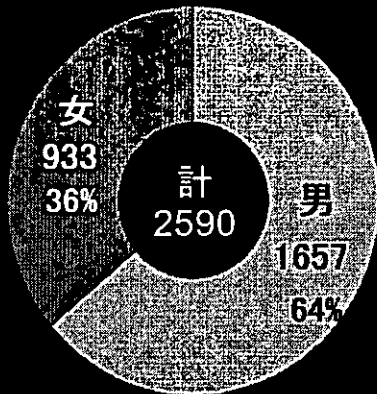


資料 5. 岩手県警死亡統計に関する調査の資料

岩手県の自殺者数

89 - 95

98 - 02



青木康博(2003)

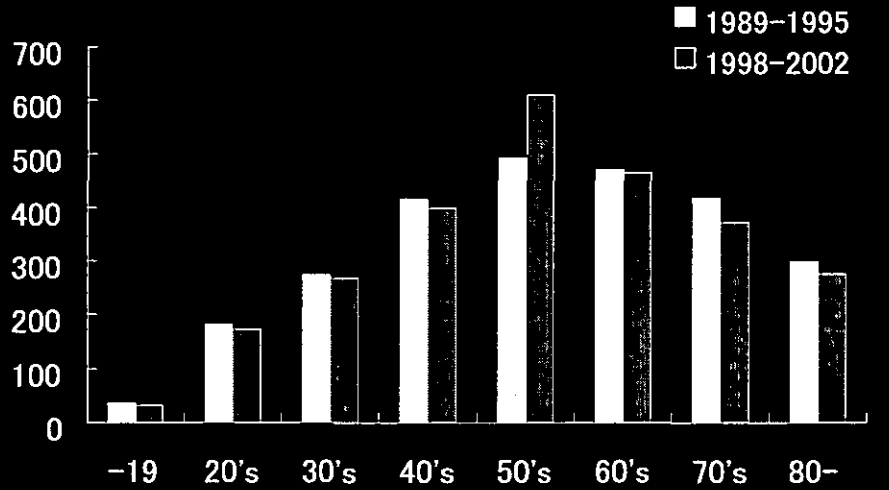
自殺率の比較

	総数	男	女
1989-1995	26.1	34.8	18.4
	16.5	21.9	11.8
1998-2002	36.9	53.9	21.2
	24.5	35.6	13.8

上段:岩手県, 下段:全国

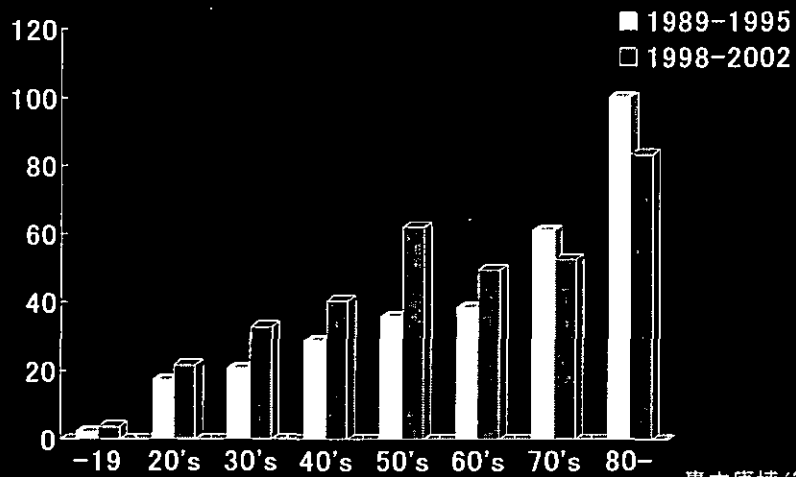
青木康博(2003)

年齢階級別自殺者数(岩手県)



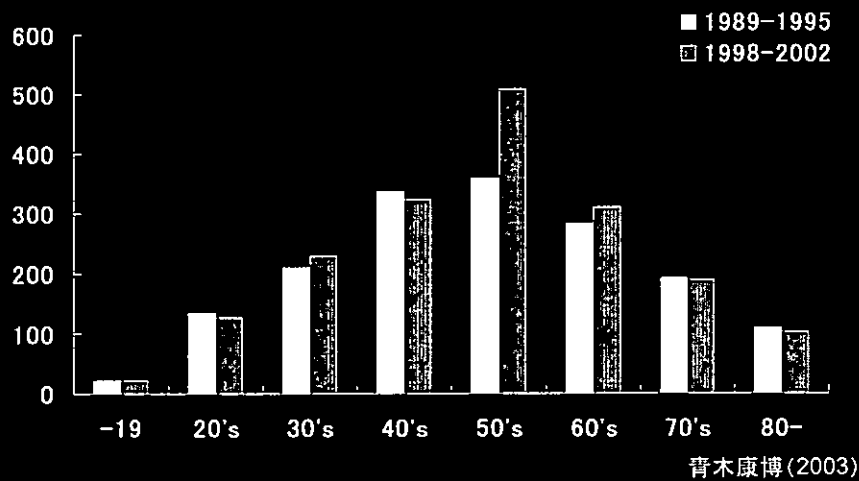
青木康博(2003)

年齢階級別自殺率(岩手県)

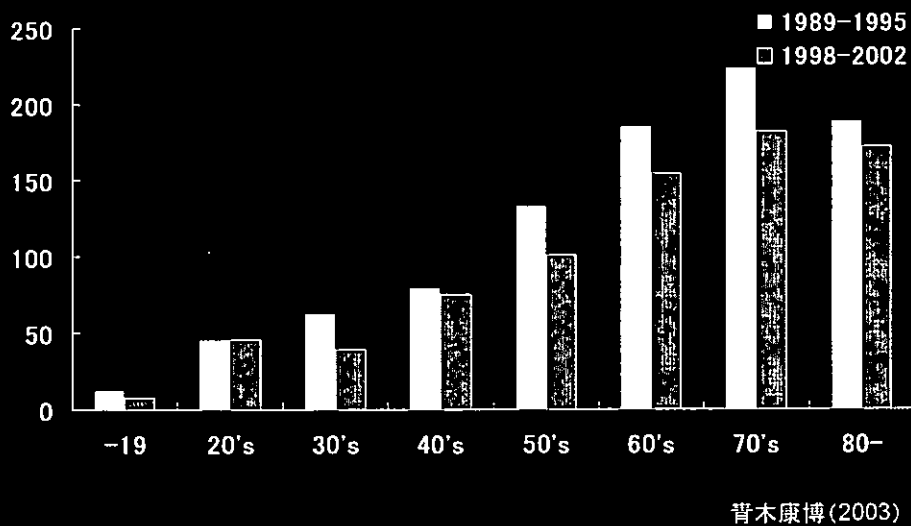


青木康博(2003)

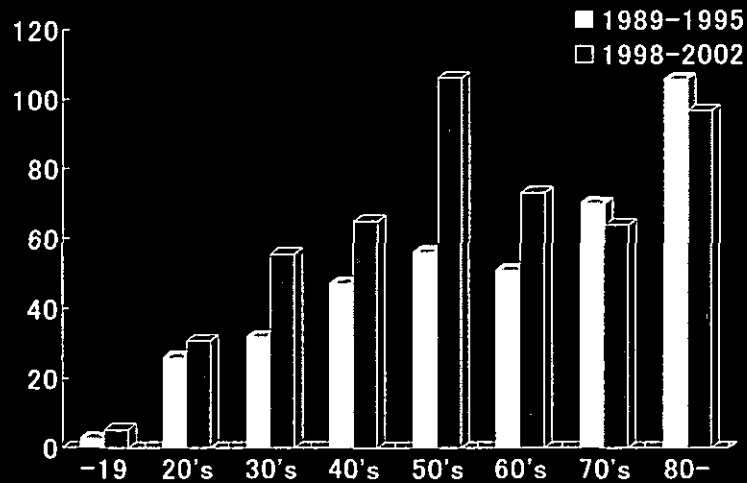
年齢階級別自殺者数(岩手県, 男性)



年齢階級別自殺者数(岩手県, 女性)

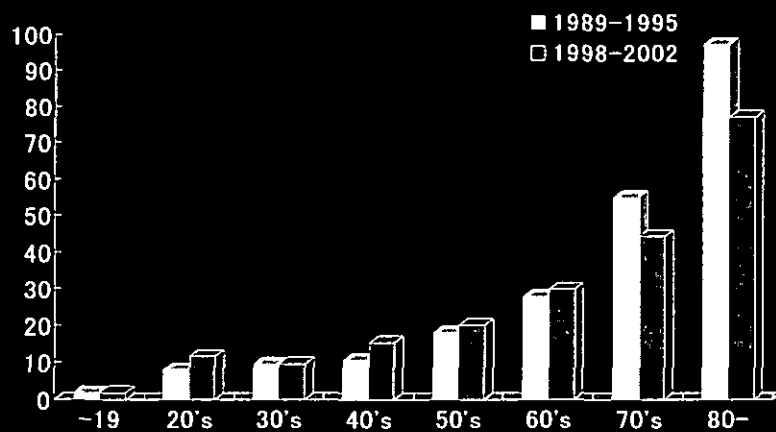


年齡階級別自殺率(岩手県, 男性)



青木康博(2003)

年齡階級別自殺率(岩手県, 女性)



青木康博(2003)

Table1. 年代区分による自殺数

		未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	総計
合計	全県	6(1.1%)	32(6%)	53(9.9%)	74(13.9%)	125(23.5%)	92(17.3%)	85(16%)	60(11.2%)	4(0.7%)	531 (100.0%)
	宮古	0(0.0%)	2(5.7%)	6(17.1%)	8(22.8%)	5(14.2%)	6(17.1%)	3(8.5%)	5(14.2%)	0(0.0%)	35 (100.0%)
	久慈	0(0.0%)	2(6.2%)	2(6.2%)	6(18.7%)	5(15.6%)	6(18.7%)	5(15.6%)	6(18.7%)	0(0.0%)	32 (100.0%)
男性	全県	4(1.0%)	25(6.4%)	51(13.1%)	64(16.5%)	106(27.3%)	59(15.2%)	50(12.9%)	25(6.4%)	3(0.7%)	387 (100.0%)
	宮古	0(0.0%)	2(8.0%)	6(24.0%)	8(32.0%)	3(12.0%)	3(12.0%)	2(8.0%)	1(4.0%)	0(0.0%)	25 (100.0%)
	久慈	0(0.0%)	2(9.0%)	2(9.0%)	4(18.1%)	3(13.6%)	4(18.1%)	4(18.1%)	3(13.6%)	0(0.0%)	22 (100.0%)
女性	全県	2(1.3%)	7(4.8%)	2(1.3%)	10(6.9%)	19(13.1%)	33(22.9%)	35(24.3%)	35(24.3%)	1(0.6%)	144 (100.0%)
	宮古	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)	3(30.0%)	1(10.0%)	4(40.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)
	久慈	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)	2(20.0%)	2(20.0%)	1(10.0%)	3(30.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table2. 職業の有無と自殺数

職業の有無		有	無	不明	合計
合計	全県	200(37.6%)	326(61.3%)	5(0.9%)	531 (100.0%)
	宮古	15(42.8%)	20(57.1%)	0(0.0%)	35 (100.0%)
	久慈	8(25.0%)	24(75.0%)	0(0.0%)	32 (100.0%)
男性	全県	173(44.7%)	210(54.2%)	4(1.0%)	387 (100.0%)
	宮古	11(44.0%)	14(56.0%)	0(0.0%)	25 (100.0%)
	久慈	8(36.3%)	14(63.6%)	0(0.0%)	22 (100.0%)
女性	全県	27(18.7%)	116(80.5%)	1(0.6%)	144 (100.0%)
	宮古	4(40.0%)	6(60.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)
	久慈	0(0.0%)	10(100.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table3. 同居の有無と自殺数

同居の有無		有	無	不明	合計
合計	全県	434(81.7%)	86(16.1%)	11(2.0%)	531 (100.0%)
	宮古	25(73.5%)	9(26.4%)	0(0.0%)	34 (100.0%)
	久慈	26(81.2%)	6(18.7%)	0(0.0%)	32 (100.0%)
男性	全県	308(79.5%)	71(18.3%)	8(2.0%)	387 (100.0%)
	宮古	17(68.0%)	8(32.0%)	0(0.0%)	25 (100.0%)
	久慈	19(86.3%)	3(13.6%)	0(0.0%)	22 (100.0%)
女性	全県	126(87.5%)	15(10.4%)	3(2.0%)	144 (100.0%)
	宮古	8(88.8%)	1(11.1%)	0(0.0%)	9 (100.0%)
	久慈	7(70.0%)	3(30.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table4. 配偶者の有無と自殺数

配偶者の有無		有	無	不明	合計
合計	全県	268(50.4%)	256(48.2%)	7(1.3%)	531 (100.0%)
	宮古	15(44.1%)	19(55.8%)	0(0.0%)	34 (100.0%)
	久慈	16(50.0%)	16(50.0%)	0(0.0%)	32 (100.0%)
男性	全県	210(54.2%)	172(44.4%)	5(1.2%)	387 (100.0%)
	宮古	12(48.0%)	13(52.0%)	0(0.0%)	25 (100.0%)
	久慈	13(59.0%)	9(40.9%)	0(0.0%)	22 (100.0%)
女性	全県	58(40.2%)	84(58.3%)	2(1.3%)	144 (100.0%)
	宮古	3(33.3%)	6(66.6%)	0(0.0%)	9 (100.0%)
	久慈	3(30.0%)	7(70.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table5.死因と自殺数

死因		総死	溺死	窒息その他	ガス類	劇毒物	中毒その他	焼死・火焼死	凍死
合計	全県	367(69.1%)	33(6.2%)	4(0.7%)	44(8.2%)	26(4.8%)	1(0.1%)	17(3.2%)	4(0.7%)
	宮古	25(71.4%)	2(5.7%)	0(0.0%)	5(14.2%)	2(5.7%)	0(0.0%)	1(2.8%)	0(0.0%)
	久慈	22(68.7%)	0(0.0%)	0(0.0%)	3(9.3%)	4(12.5%)	0(0.0%)	1(3.1%)	0(0.0%)
男性	全県	264(68.2%)	18(4.7%)	1(0.3%)	42(10.9%)	17(4.4%)	0(0.0%)	14(3.6%)	2(0.5%)
	宮古	16(64.0%)	1(4.0%)	0(0.0%)	5(20.0%)	2(8.0%)	0(0.0%)	1(4.0%)	0(0.0%)
	久慈	16(72.7%)	0(0.0%)	0(0.0%)	3(13.6%)	2(9.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
女性	全県	103(71.5%)	15(10.4%)	3(2.0%)	2(1.3%)	9(6.2%)	1(0.6%)	3(2.0%)	2(1.4%)
	宮古	9(90.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)
	久慈	6(60.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)	0(0.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)

死因		脳・脊髄損傷	内臓破裂	刺創	切創	損傷その他	その他	合計
合計	全県	15(2.8%)	3(0.5%)	5(0.9%)	10(1.8%)	1(0.1%)	1(0.1%)	531(100.0%)
	宮古	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	35(100.0%)
	久慈	1(3.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(3.1%)	0(0.0%)	0(0.0%)	32(100.0%)
男性	全県	11(2.8%)	3(0.7%)	5(1.2%)	8(2.0%)	1(0.2%)	1(0.2%)	387(100.0%)
	宮古	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	25(100.0%)
	久慈	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(4.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	22(100.0%)
女性	全県	4(2.7%)	0(0.0%)	0(0.0%)	2(1.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)	144(100.0%)
	宮古	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	10(100.0%)
	久慈	1(10.01%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	10.0(100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table6.飲酒の有無と自殺数

飲酒の有無		有	無	不明その他	合計
合計	全県	54(10.1%)	380(71.5%)	97(18.2%)	531(100.0%)
	宮古	7(20.0%)	21(60.0%)	7(20.0%)	35(100.0%)
	久慈	6(18.7%)	22(68.7%)	4(12.5%)	32(100.0%)
男性	全県	45(11.6%)	249(64.3%)	93(24.0%)	387(100.0%)
	宮古	6(24.0%)	12(48.0%)	7(28.0%)	25(100.0%)
	久慈	5(22.7%)	13(59.0%)	4(18.1%)	22(100.0%)
女性	全県	9(6.2%)	131(90.9%)	4(2.7%)	144(100.0%)
	宮古	1(10.0%)	9(90.0%)	0(0.0%)	10(100.0%)
	久慈	1(10.0%)	9(90.0%)	0(0.0%)	10(100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table7.飲酒有無と死因と自殺数

死因	飲酒区分	総死	溺死	窒息その他	ガス類	劇毒物	中毒その他	焼死・火焼死	凍死
	有	26(48.1%)	3(5.5%)	0(0.0%)	15(27.7%)	5(9.2%)	0(0.0%)	2(3.7%)	1(1.8%)
	無	278(73.1%)	23(6.0%)	4(1.0%)	18(4.7%)	21(5.5%)	1(0.2%)	9(2.3%)	2(0.5%)
	不明	63(64.9%)	7(7.2%)	0(0.0%)	11(11.3%)	0(0.0%)	0(0.0%)	6(6.1%)	1(1.0%)
合計		367(69.1%)	33(6.2%)	4(0.7%)	44(8.2%)	26(4.8%)	1(0.1%)	17(3.2%)	4(0.7%)

死因	飲酒区分	脳・脊髄損傷	内臓破裂	刺創	切創	損傷その他	その他	合計
	有	1(1.8%)	0(0.0%)	0(0.0%)	1(1.8%)	0(0.0%)	0(0.0%)	54(100.0%)
	無	11(2.8%)	0(0.0%)	5(1.3%)	7(1.8%)	1(0.2%)	0(0.0%)	380(100.0%)
	不明	3(3.0%)	3(3.0%)	0(0.0%)	2(2.0%)	0(0.0%)	1(1.0%)	97(100.0%)
合計		15(2.8%)	3(0.5%)	5(0.9%)	10(1.8%)	1(0.1%)	1(0.1%)	531(100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table8. 通院歴と自殺数

職業の有無		他科	精神科	無	不明その他	合計
合計	全県	215(40.4%)	128(24.1%)	172(32.3%)	16(3.0%)	531 (100.0%)
	宮古	17(48.5%)	3(8.5%)	15(42.8%)	0(0.0%)	35 (100.0%)
	久慈	16(50.0%)	8(25.0%)	7(21.8%)	1(3.1%)	32 (100.0%)
男性	全県	147(37.9%)	75(19.3%)	150(38.7%)	15(3.8%)	387 (100.0%)
	宮古	9(36.0%)	2(8.0%)	14(56.0%)	0(0.0%)	25 (100.0%)
	久慈	11(50.0%)	3(13.6%)	7(31.8%)	1(4.5%)	22 (100.0%)
女性	全県	68(47.2%)	53(36.8%)	22(15.2%)	1(0.6%)	144 (100.0%)
	宮古	8(80.0%)	1(10.0%)	1(10.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)
	久慈	5(50.0%)	5(50.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Table9. 未遂歴の有無と自殺数

未遂歴の有無		有	無	不明その他	全体
全体	全県	61(11.4%)	434(81.7%)	36(6.7%)	531 (100.0%)
	宮古	5(14.2%)	28(80.0%)	2(5.7%)	35 (100.0%)
	久慈	6(18.7%)	23(71.8%)	3(9.3%)	32 (100.0%)
男性	全県	46(11.8%)	311(80.3%)	30(7.7%)	387 (100.0%)
	宮古	4(16.0%)	19(76.0%)	2(8.0%)	25 (100.0%)
	久慈	4(18.1%)	16(72.7%)	2(9.0%)	22 (100.0%)
女性	全県	15(10.4%)	123(85.4%)	6(4.1%)	144 (100.0%)
	宮古	1(10.0%)	9(90.0%)	0(0.0%)	10 (100.0%)
	久慈	2(20.0%)	7(70.0%)	1(10.0%)	10 (100.0%)

高谷友希ら(2003)

小数点第2位以下を切捨てた

Figure1. 自殺既遂者の特徴
(男性)

男性	全県	久慈	宮古
年代	60代以上35.4%	50代以上63.6%	30~40代56.0%
無職者	54.2%	63.6%	56.2%
独居者	18.3%	13.6%	32.0%
死因	縊死68.2%	縊死72.7%	縊死64.0%、ガス類20.0%
通院	他科37.9%	他科50.0%	受診歴無し56.0%
飲酒	11.6%	22.7%	24.0%

(女性)

女性	全県	久慈	宮古
年代	50代以上85.4%	50代以上80.0%	全て50代以上
無職者	80.5%	100.0%	60.0%
独居者	10.0%	30.0%	10.0%
死因	縊死71.5%	縊死60.0%	縊死90.0%、溺死10.0%
通院	他科47.2%	精神科50.0%	精神科10.0%、他科80.0%
飲酒	6.2%	10.0%	10.0%

高谷友希ら(2003)

資料 6. 高度救急救命センターにおける
自殺未遂者調査に関する資料

Table1. 男女別の平均年齢、企図手段、ICD-10Fコードによる診断分類

	全自殺未遂 患者(N=125)	男性 (N=44)	女性 (N=81)	P.value
平均年齢±標準偏差	42.0±19.6	48.5±16.4	38.5±20.4	0.006*
企図手段				
薬物(/N×100%)	63(50.4%)	14(31.8%)	49(60.4%)	0.003**
毒物、農薬(/N×100%)	17(13.6%)	7(15.9%)	10(12.3%)	NS**
ガス(/N×100%)	3(2.4%)	3(6.8%)	0(0%)	0.042**
飛び降り(/N×100%)	6(4.8%)	2(4.5%)	4(4.9%)	NS**
飛び込み(/N×100%)	1(0.8%)	0	1(1.2%)	NS**
刃物刺物(/N×100%)	18(14.4%)	8(18.2%)	10(12.3%)	NS**
焼身(/N×100%)	2(1.6%)	2(4.5%)	0	NS**
入水(/N×100%)	2(1.6%)	0	2(2.5%)	NS**
縊首(/N×100%)	6(4.8%)	4(9.1%)	2(2.5%)	NS**
複合手段(/N×100%)	7(5.6%)	4(9.1%)	3(3.7%)	NS**

* T検定

** χ^2 検定:p<0.05

(中山秀紀ら, 2003)

Table2. 男女別のICD-10Fコードによる診断分類、動機

	全自殺未遂 患者(N=125)	男性 (N=44)	女性 (N=81)	P.value
ICD-10Fコードによる診断分類				
F0(/N×100%)	5(4.0%)	1(2.3%)	4(4.9%)	NS
F1(/N×100%)	5(4.0%)	4(9.1%)	1(1.2%)	NS
F2(/N×100%)	12(9.6%)	4(9.1%)	8(9.9%)	NS
F3(/N×100%)	44(35.2%)	20(45.5%)	24(29.6%)	NS
F4(/N×100%)	43(34.4%)	11(25.0%)	32(39.5%)	NS
F5(/N×100%)	1(0.8%)	0	1(1.2%)	NS
F6(/N×100%)	12(9.6%)	3(6.8%)	9(11.1%)	NS
F9(/N×100%)	2(1.6%)	0	2(2.5%)	NS
Fコードによる診断無し(/N×100)	1(0.8%)	1(2.3%)	0	NS
自殺の動機				
家庭家族関係(/N×100%)	19(15.2%)	4(9.1%)	15(18.5%)	NS
経済状況(/N×100%)	14(11.2%)	7(15.9%)	7(8.6%)	NS
病苦(/N×100%)	19(15.2%)	5(11.4%)	14(17.3%)	NS
精神病症状(/N×100%)	10(8.0%)	4(9.1%)	6(7.4%)	NS
対人関係(/N×100%)	20(16.0%)	3(6.8%)	17(21.0%)	0.043
仕事(/N×100%)	13(10.4%)	9(20.5%)	4(4.9%)	0.012
その他(/N×100%)	19(15.2%)	8(18.2%)	11(13.6%)	NS
複合要因(/N×100%)	8(6.4%)	2(4.5%)	6(7.4%)	NS
不明(/N×100%)	3(2.4%)	2(4.5%)	1(1.2%)	NS

 χ^2 検定:p<0.05

(中山秀紀ら, 2003)

Figure1. 自殺未遂者 (N=125) の医療機関での受診状況と転帰
(中山秀紀ら, 2003)

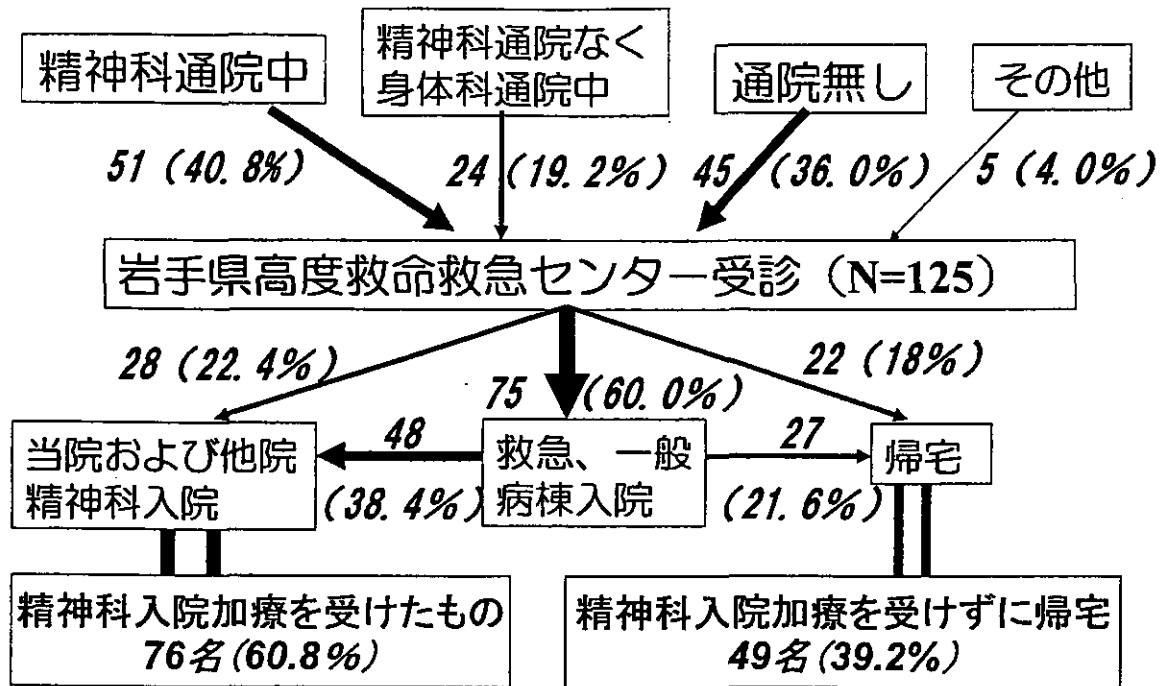


Table3. 医療機関の受診状況別の性別、年齢、ICD-10Fコードによる診断分類

	精神科通院中 (N=51)	精神科通院なく その他の科通院中 (N=24)	通院なし (N=45)
性別(女性の割合)	41(80.4%)	14(58.3%)	24(53.3%)
	0.008		
平均年齢±標準偏差	36.8±16.9	62.9±17.9	36.7±15.4
	<0.001		<0.001
ICD-10Fコードによる診断分類			
F2	10(19.6%)	1(5.3%)	1(2.2%)
	<0.009		
F3	14(27.5%)	14(58.3%)	15(33.3%)
	0.02		
F4	15(29.4%)	6(25.0%)	21(46.7%)
F6	6(11.8%)	0	6(13.3%)

χ^2 検定: $p < 0.05$

注) 統計的に有意であるデータのみP値を示した

(中山秀紀ら, 2003)